

第三次上田市行財政改革大綱【素案】 前回案における主な意見と修正点

1 前回（第4回1/25）委員会での意見等

前回（1月25日）		今回（2月5日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
目次 19	「4 大綱の位置付け」について、 ・表現があいまいである ・「3 大綱の基本方針」の前に記述されるべきではないか ・文章だけでは分かりにくいとため、図式化したらどうか	目次 18	「4 大綱の位置付け」を「3 大綱の位置付け」、「3 大綱の基本方針」を「4 大綱の基本方針」として順番を入れ替え、文章を一部修正し、概念図を追加しました。
2	「平成20年度10月市民満足度調査実施」の後に句点が入るのではないかと。	2	「平成20年度10月市民満足度調査実施」の後に句点を追加しました。
3・5	P3 2(1)ア(オ)「妊娠・出産から・・・支援とともに」とP5 イ(ウ)「結婚支援から・・・子育て支援」の表記について整合を図ったらどうか。	3・5	上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略での表記と整合を図り、P5イ(ウ)について「結婚支援から出産・子育てまでの切れ目のない支援、」と修正しました。
3・5 ・15	P3(1)ア(オ)・P5イ(ウ)等では「子育て」、P15(4)ウでは「育児」と使い分けているが、ことばの定義を考えるとP15(4)ウの「育児」は「子育て」ではないかと。	15	(4)ウ「育児」を「子育て」に修正しました。
15・20	P15(4)エ及びP20(1)エ「個人情報の保護のための徹底」とあるが、ウイルス対策やサイバー攻撃等の対策を含めた文言にしてもよいのではないかと。	15・20	「個人情報保護を含む情報セキュリティ対策の徹底」に修正しました。
16	「(6)第二次上田市総合計画の実現」が、途中で改ページされているため、先頭から改ページしたらどうか。	17	「(6)第二次上田市総合計画の実現」の先頭で改ページしました。

第三次上田市行財政改革大綱【素案】 前回案における主な意見と修正点

1 前回（第3回）委員会での意見等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
目次	目次の記載と該当ページの見出しが整合していない箇所がある。 P15・(4)「行政課題に速やかに対応できる組織作りと人材育成」 P18・(1)「新たな行政サービス確立に向けた改革」 P18・(2)「多様な市政参加と連携に向けた改革」	目次	該当ページの見出しに合わせ、目次の記載内容を修正しました。 P15・(4)「行政課題に速やかに対応できる組織づくりと人材育成」 P18・(1)「新たな行政サービスの確立に向けた改革」 P18・(2)「多様な主体の連携と協力に向けた改革」
1・2	「これまでの行財政改革の主な歩み（経緯）」の表中の記載全体に句点（「。」）がない。	1・2	表中の記載全体に句点を挿入しました。
5	イ(I) 2行目 「あらゆる主体～」という表現が分かりづらい（ほかに適当な表現はないのか）。	5	イ(I)の記載について、「あらゆる主体」という表現を削除するとともに、広域連携に関する記載を追加し、分かりやすく表記しました。
5	イ(ウ) 2行目～ 「雇用の創出や若者世代の結婚・出産～」とあるが、40代の独身者も多いので、表現を検討したらどうか。	5	イ(ウ) 2行目～ 「若者や女性が活躍できる環境整備による就業機会の拡大や、結婚支援からきめ細やかな出産～」という表現に修正しました。
5・15	女性が輝ける社会の創出ということに関連して、女性の活躍・登用などの表現を入れたらどうか。	15	(4)ウ 6行目 「職員がいきいきと力を発揮できる職場環境の～」を 「性別にとらわれず職員がいきいきと能力を発揮できる職場環境～」という表現に修正しました。
6	グラフ下段「合計特殊出生率」の注釈は、5ページ下段に移した方が分かりやすい。	5	グラフ下段「合計特殊出生率」の注釈を、5ページ下段に移動し、注釈を「__1 合計特殊出生率」「__2 定住自立圏」に修正しました。
15	(4)ア 下段の「PFI」の注釈で、「Public Finance Initiative」の「P」は「Private」ではないか。	15	「Public Finance Initiative」を、「Private Finance Initiative」に修正しました。
18	3(2) 1行目 「多様な主体～」という表現が分かりづらい（ほかに適当な表現はないのか）。 また、2行目にも「主体的に活動できる～」という表現があり、紛らわしい。	18	3(2) 1行目 「多様な主体」を「様々な人や組織による」という表現に修正しました。 本文を「市民や企業、各種団体、地域、学校など、様々な人や組織が連携・協力し、自ら行動し、市政の充実が図られる環境づくりや、地域内分権、民間活力の導入拡大に向けた取り組みを進めます。」に修正しました。
18	3(2) 2行目 「連携・協力」の記載は「連携・協働」の方が良いのではないか。	18	第二次上田市総合計画では、「協働」の定義を「様々な人や組織が（中略）対等な立場で役割分担を行いながら協力し、主体的に活動すること」としており、総合計画の本文中においても、「連携・協力」という表現を使用しているため、修正なしとさせていただきます。

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
18	4「大綱の位置付け」の本文が分かりづらい。	19	4「大綱の位置付け」の本文を全体的に修正しました。
19	(1)「住みたい住みたいと思うまちづくりへの改革」の説明文が分かりづらい(2行目「サービスの方法に係る見直し~」)。3行目「~をまとめます。」に違和感がある。	20	(1)「住みたい住みたいと思うまちづくりへの改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
19	(1)ア「移住・定住・交流人口を増やす体制の確立」本文2行目「仕組みづくり」の表現が分かりづらい。	20	(1)ア 本文を全体的に修正しました。
19	(1)イ「民間活力の導入促進」本文3~4行目「しっかりと見極め~」の「しっかりと」は不要ではないか。	20	(1)イ「多様な主体が市政に参画・協働する制度づくり」とし、本文を全体的に修正しました。
20	(2)「支える財政基盤の改革」の説明文 3行目「~をまとめます。」の表現に違和感がある。	21	(2)「支える財政基盤の改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
20	(2)ア「歳入の確保」本文3行目~「ふるさと納税を始めとした自主財源の確保~」について、ふるさと納税のほかに自主財源を例示できないか。	21	(2)ア「歳入の確保」本文3行目~例示を増やし、「企業誘致による財政基盤の強化、遊休資産の処分による財源化、広告掲載事業やふるさと納税の推進など、自主財源の確保~」に修正しました。
20	(2)ウ「市有財産の適切な管理と利活用」本文が全体的に難しく、分かりづらい。	21	(2)ウ「市有財産の適切な管理と利活用」本文を修正しました。
20	(2)エ「受益と負担のあり方の見直し」本文3行目「受益と負担の適正化~」を「受益と公平な負担の適正化~」にしたらどうか。	21	(2)エ「受益と負担のあり方の見直し」本文「公平な受益と負担の原則に基づき、サービスコストとそれに見合った受益者負担について、市民の理解を得ながら、公平な負担の適正化を図ります。」に修正しました。
21	(3)「市民満足度を向上させる人・組織の改革」の説明文が分かりづらい(2行目「行政と地域の仕組みに係る改革~」)。2行目「~をまとめます。」に違和感がある。	22	(3)「市民満足度を向上させる人・組織の改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
21	(3)ア「行政組織の見直し」本文3行目「効果的かつ効率的な~」 (3)ウ「行政評価の仕組み整備」本文1行目「効率的かつ効果的な~」 表現の統一または、ほかに適当な表現はないか。	22	(3)ア「行政組織の見直し」については、本文全体を見直し、修正しました。 (3)オ「行政評価の仕組み整備」とし、本文1行目「効果的かつ効率的な~」に修正しました。
21	(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文2~3行目「全体の奉仕者」の表現は、かなり使い古された言葉であり、ここで記載するのはふさわしくない。	22	(3)イ「人材の確保・育成と職員の意識改革」とし、本文を全体的に修正しました。
22	6(2)ウ「チェック体制」(1)の本文「市民の代表」という表現がどのような人を指しているのかが分かりづらく、受け取り方によっては誤解を招きやすい。	23	6(2)ウ「チェック体制」(1)の本文を削除し、6(2)「大綱の推進体制」の冒頭に説明文を追加し、下段「上田市行財政改革の推進体制」の図についても修正しました。

2 会議後の郵送・FAX・電子メールなどによる意見、事務局修正等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
			誤字・脱字ほか、簡易な修正等については、全体的にご指摘をいただいた箇所について修正しました。
16		16	(6)「第二次上田市総合計画の策定」を「第二次上田市総合計画の実現」に修正しました。
目次 18		目次 18	3(1)「新たな行政サービスの確立に向けた改革」本文を全体的に修正しました。
目次 18	3(2)「多様な主体の市政参加と連携に向けた改革」本文 総合計画に盛り込まれた自助・共助・公助の理念からすると、現在の表記では受け身な感じがする。 【修正案】 「市民や企業、各種団体、学校など、多様な主体が行政と連携、協力し、市政の充実が望めるような環境づくり、民間活力導入拡大に向けた取り組みを進めます。」	目次 18	3(2)「多様な主体の連携と協力に向けた改革」とし 本文「市民や企業、各種団体、学校など、様々な人や組織が連携・協力し、自ら行動し、市政の充実が図られる環境づくりや、地域内分権、民間活力の導入拡大などに向けた取り組みを進めます。」に修正しました。
18		18	3(3)「健全で安定的な財政基盤の構築に向けた改革」本文を修正しました。
目次 18		目次 18	3(4)「時代に即した行政サービスの提供に向けた改革」とし、本文を修正しました。
19		20	(1)ウ「広域連携の推進」 本文「定住自立圏や都市間連携などの広域的な市町村連携による役割分担や機能分担により、新たな行政サービスの充実や行政運営の効率化を図ります。」を追加しました。
19		20	(1)ウ「業務の効率化・窓口サービスの利便向上」をエ「業務の～」とし、本文を修正しました。
19		20	(1)エ「市民と行政との情報共有化の推進」をオ「市民と～」とし、本文を修正しました。
20		21	(2)イ「健全な財政基盤の構築」の本文に「財政の「見える化」を図るとともに、」を追加しました。
21	(3)ア「行政組織の見直し」見出し 組織変更では再編に時間がかかり、新たな行政需要への対応は難しい上、市民ニーズは流動的で持続しないことが多いと思う。「組織の見直し」より「組織の柔軟な運用」もしくは「組織内の連携」が望ましいと思う。また、現状でも効率重視で細分化しすぎ、問題点や改善点が分かりにくくなっている印象を受ける。	22	(3)ア「行政組織の見直し」見出し 行政組織については、組織内の連携はもとより、柔軟性等も含め、見出しは、総合的な意味合いで「行政組織の見直し」という表現にしたいと考えます。

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
21	<p>(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文行政職の存在意義が職員にも市民にも見えにくくなっていることが問題だと思う。その意味で「全体の奉仕者」という言葉は重要だと思う。使い古された言葉でも、公務員が個人の利益ではなく、全体の利益を将来にわたって考えるプロという意識が重要だと思う。</p> <p>「市民の目線」という言葉は、職員同士で使う言葉で、市民に向けて発信すると誤解を招く表現だと思う。</p>	22	<p>(3)イ「人材の確保・育成と職員の意識改革」とし、本文「全体の奉仕者」という表現については、考え方やイメージも様々であることから、『「全体の奉仕者」として～』を『上田市人材育成基本計画に掲げる「市民第一主義」の考えを基本に、市民の立場に立って～』という表現に修正し、「市民の目線」という言葉は削除しました。</p>
21		22	<p>(3)エ「地域内分権による地域の自治の推進」を力「地域内分権～」とし、本文を全体的に修正しました。</p>
21		22	<p>(3)ウ「多様な人材交流の推進」とし、本文「多様な視点や発想を導入するため、国や県などの他機関や民間企業などとの人材の交流を進め、組織の更なる活性化を図ります。」を追加しました。</p>
21		22	<p>(3)エ「仕事のやり方の見直し」とし、本文「増大する住民ニーズに対し、行政サービスを安定的かつ持続的に提供するため、市民満足度やサービスの向上とともに、事務の効率化に向けた仕事のやり方の見直しを進めます。」を追加しました。</p>

第三次上田市行財政改革大綱【素案】 前回案における主な意見と修正点

1 前回（第3回）委員会での意見等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
目次	目次の記載と該当ページの見出しが整合していない箇所がある。 P15・(4)「行政課題に速やかに対応できる組織作りと人材育成」 P18・(1)「新たな行政サービス確立に向けた改革」 P18・(2)「多様な市政参加と連携に向けた改革」	目次	該当ページの見出しに合わせ、目次の記載内容を修正しました。 P15・(4)「行政課題に速やかに対応できる組織づくりと人材育成」 P18・(1)「新たな行政サービスの確立に向けた改革」 P18・(2)「多様な主体の市政参加と連携に向けた改革」
1・2	「これまでの行財政改革の主な歩み（経緯）」の表中の記載全体に句点（「。」）がない。	1・2	表中の記載全体に句点を挿入しました。
5	イ(イ) 2行目 「あらゆる主体～」という表現が分かりづらい（ほかに適当な表現はないのか）。	5	イ(イ)の記載について、「あらゆる主体」という表現を削除するとともに、広域連携に関する記載を追加し、分かりやすく表記しました。
5	イ(ウ) 2行目～ 「雇用の創出や若者世代の結婚・出産～」とあるが、40代の独身者も多いので、表現を検討したらどうか。	5	イ(ウ) 2行目～ 「若者や女性が活躍できる環境整備による就業機会の拡大や、結婚支援からきめ細やかな出産～」という表現に修正しました。
5・15	女性が輝ける社会の創出ということに関連して、女性の活躍・登用などの表現を入れたらどうか。	15	(4)ウ 6行目 「職員がいきいきと力を発揮できる職場環境の～」を 「性別にとらわれず職員がいきいきと能力を発揮できる職場環境～」という表現に修正しました。
6	グラフ下段「合計特殊出生率」の注釈は、5ページ下段に移した方が分かりやすい。	5	グラフ下段「合計特殊出生率」の注釈を、5ページ下段に移動し、注釈を「_1 合計特殊出生率」「_2 定住自立圏」に修正しました。
15	(4)ア 下段の「PFI」の注釈で、「Public Finance Initiative」の「P」は「Private」ではないか。	15	「Public Finance Initiative」を、「Private Finance Initiative」に修正しました。
18	3(2) 1行目 「多様な主体～」という表現が分かりづらい（ほかに適当な表現はないのか）。 また、2行目にも「主体的に活動できる～」という表現があり、紛らわしい。	18	3(2) 1行目 「多様な主体」を「様々な人や組織による」という表現に修正しました。 本文を「市民や企業、各種団体、学校など、様々な人や組織が行政と連携・協力し、市政の充実が図られる環境づくりや、民間活力の導入拡大に向けた取り組みを進めます。」に修正しました。
18	3(2) 2行目 「連携・協力」の記載は「連携・協働」の方が良いのではないか。	18	第二次上田市総合計画では、「協働」の定義を「様々な人や組織が（中略）対等な立場で役割分担を行いながら協力し、主体的に活動すること」としており、総合計画の本文中においても、「連携・協力」という表現を使用しているため、修正なしとさせていただきます。

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
18	4「大綱の位置付け」の本文が分かりづらい。	18	4「大綱の位置付け」の本文を全体的に修正しました。
19	(1)「住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革」の説明文が分かりづらい(2行目「サービスの方法に係る見直し～」)。3行目「～をまとめます。」に違和感がある。	19	(1)「住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
19	(1)ア「移住・定住・交流人口を増やす体制の確立」本文2行目「仕組みづくり」の表現が分かりづらい。	19	(1)ア 本文2行目の表現について修正し、広域連携に関する記載を追加しました。
19	(1)イ「民間活力の導入促進」本文3～4行目「しっかりと見極め～」の「しっかりと」は不要ではないか。	19	(1)イ 本文3～4行目「しっかりと見極め～」の「しっかりと」を削除しました。
20	(2)「支える財政基盤の改革」の説明文 3行目「～をまとめます。」の表現に違和感がある。	20	(2)「支える財政基盤の改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
20	(2)ア「歳入の確保」本文3行目～「ふるさと納税を始めとした自主財源の確保～」について、ふるさと納税のほかに自主財源を例示できないか。	20	(2)ア「歳入の確保」本文3行目～例示を増やし、「企業誘致による財政基盤の強化、広告掲載事業やふるさと納税の推進など、自主財源の確保～」に修正しました。
20	(2)ウ「市有財産の適切な管理と利活用」本文が全体的に難しく、分かりづらい。	20	(2)ウ「市有財産の適切な管理と利活用」本文を全体的に修正しました。
20	(2)エ「受益と負担のあり方の見直し」本文3行目「受益と負担の適正化～」を「受益と公平な負担の適正化～」にしたらどうか。	20	(2)エ「受益と負担のあり方の見直し」本文3行目「受益と負担の適正化～」を「受益と公平な負担の適正化～」に修正しました。
21	(3)「市民満足度を向上させる人・組織の改革」の説明文が分かりづらい(2行目「行政と地域の仕組みに係る改革～」)。2行目「～をまとめます。」に違和感がある。	21	(3)「市民満足度を向上させる人・組織の改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
21	(3)ア「行政組織の見直し」本文3行目「効果的かつ効率的な～」 (3)ウ「行政評価の仕組み整備」本文1行目「効率的かつ効果的な～」 表現の統一または、ほかに適当な表現はないか。	21	(3)ア「行政組織の見直し」については、本文全体を見直し、修正しました。 (3)ウ「行政評価の仕組み整備」本文1行目「効果的かつ効率的な～」に修正しました。
21	(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文2～3行目「全体の奉仕者」の表現は、かなり使い古された言葉であり、ここで記載するのはふさわしくない。	21	(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文2～3行目『「全体の奉仕者」として～』を『上田市人材育成基本計画に掲げる「市民第一主義」の考えを基本に、市民の立場に立って～』という表現に修正しました。
22	6(2)ウ「チェック体制」(1)の本文「市民の代表」という表現がどのような人を指しているのかが分かりづらく、受け取り方によっては誤解を招きやすい。	22	6(2)ウ「チェック体制」(1)の本文を削除し、6(2)「大綱の推進体制」の冒頭に説明文を追加し、下段「上田市行財政改革の推進体制」の図についても修正しました。

2 会議後の郵送・FAX・電子メールなどによる意見等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
			誤字・脱字ほか、簡易な修正等については、全体的にご指摘をいただいた箇所について修正しました。
18	<p>3(2)「多様な主体の市政参加と連携に向けた改革」本文 総合計画に盛り込まれた自助・共助・公助の理念からすると、現在の表記では受け身な感じがする。 【修正案】 「市民や企業、各種団体、学校など、多様な主体が行政と連携、協力し、市政の充実が望めるような環境づくり、民間活力導入拡大に向けた取り組みを進めます。」</p>	18	<p>3(2)「多様な主体の市政参加と連携に向けた改革」本文 「市民や企業、各種団体、学校など、様々な人や組織が行政と連携・協力し、市政の充実が図られる環境づくりや、民間活力の導入拡大に向けた取り組みを進めます。」に修正しました。</p>
21	<p>(3)ア「行政組織の見直し」見出し 組織変更では再編に時間がかかり、新たな行政需要への対応は難しい上、市民ニーズは流動的で持続しないことが多いと思う。「組織の見直し」より「組織の柔軟な運用」もしくは「組織内の連携」が望ましいと思う。また、現状でも効率重視で細分化しすぎ、問題点や改善点が分かりにくくなっている印象を受ける。</p>	21	<p>(3)ア「行政組織の見直し」見出し 行政組織については、組織内の連携はもとより、柔軟性等も含め、見出しは、総合的な意味合いで「行政組織の見直し」という表現にしたいと考えます。</p>
21	<p>(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文 行政職の存在意義が職員にも市民にも見えにくくなっていることが問題だと思う。その意味で「全体の奉仕者」という言葉は重要だと思う。使い古された言葉でも、公務員が個人の利益ではなく、全体の利益を将来にわたって考えるプロという意識が重要だと思う。 「市民の目線」という言葉は、職員同士で使う言葉で、市民に向けて発信すると誤解を招く表現だと思う。</p>	21	<p>(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文 「全体の奉仕者」という表現については、考え方やイメージも様々であることから、『「全体の奉仕者」として～』を『上田市人材育成基本計画に掲げる「市民第一主義」の考えを基本に、市民の立場に立って～』という表現に修正し、「市民の目線」という言葉は削除しました。</p>
関連ページ 7～10 15	<p>市税が減少傾向にあって、地方債が増加傾向にあり、危機的財務状況にある。</p> <p>上田市の職員の人事は、3～4年で異動になり何でも例年並み（の考え方）で、本腰を入れて新しいことや改革を行おうという人材は非常に少ない（と思う）。また、その程度の期間では、専門的知識は体得できない。PPPやPFIといった管理手法を使いこなすには、市職員が民間企業レベルより更に上の知識がなければ、ただただ民間企業の言いなりになってしまうだけ、「大綱」の推進期間である最低5年間は同じ職場に留まるべきだと考える。</p>		<p>貴重なご意見として、今後の市政や行財政改革において参考にさせていただきます。</p>
23	<p>アクションプログラム策定後のPDCAマネジメントサイクルは、往々にしてPDのみで、CAが形式的になり、サイクルが回らないことが多いので、CAに特段の力を注いで、サイクルを何回も回していただきたい。</p>		

第三次上田市行財政改革大綱 【素案】 前回案からの主な修正点

1 前回（第3回）委員会での意見等

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
目次	目次の記載と該当ページの見出しが整合していない箇所がある。 P15・(4)「行政課題に速やかに対応できる組織作りと人材育成」 P18・(1)「新たな行政サービス確立に向けた改革」 P18・(2)「多様な市政参加と連携に向けた改革」	目次	該当ページの見出しに合わせ、目次の記載内容を修正しました。 P15・(4)「行政課題に速やかに対応できる組織づくりと人材育成」 P18・(1)「新たな行政サービスの確立に向けた改革」 P18・(2)「多様な主体の市政参加と連携に向けた改革」
1・2	「これまでの行財政改革の主な歩み（経緯）」の表中の記載全体に句点（「。」）がない。	1・2	表中の記載全体に句点を挿入しました。
5	イ(エ) 2行目 「あらゆる主体～」という表現が分かりづらい（ほかに適当な表現はないのか）。	5	イ(エ)の記載について、「あらゆる主体」という表現を削除するとともに、広域連携に関する記載を追加し、分かりやすく表記しました。
5	イ(ウ) 2行目～ 「雇用の創出や若者世代の結婚・出産～」とあるが、40代の独身者も多いので、表現を検討したらどうか。	5	イ(ウ) 2行目～ 「若者や女性が活躍できる環境整備による就業機会の拡大や、結婚支援からきめ細やかな出産～」という表現に修正しました。
5・15	女性が輝ける社会の創出ということに関連して、女性の活躍・登用などの表現を入れたいらどうか。	15	(4)ウ 6行目 「職員がいきいきと力を発揮できる職場環境の～」を 「性別にとらわれず職員がいきいきと能力を発揮できる職場環境～」という表現に修正しました。
6	グラフ下段「合計特殊出生率」の注釈は、5ページ下段に移した方が分かりやすい。	5	グラフ下段「合計特殊出生率」の注釈を、5ページ下段に移動し、注釈を「_1 合計特殊出生率」「_2 定住自立圏」に修正しました。
15	(4)ア 下段の「PFI」の注釈で「Public Finance Initiative」の「P」は「Private」ではないか。	15	「Public Finance Initiative」を「Private Finance Initiative」に修正しました。
18	3(2) 1行目 「多様な主体～」という表現が分かりづらい（ほかに適当な表現はないのか）。 また、2行目にも「主体的に活動できる～」という表現があり、紛らわしい。	18	3(2) 1行目 「多様な主体」を「様々な人や組織による」という表現に修正し、2行目の「主体的に～」の表現はそのまま生かしました。
18	3(2) 2行目 「連携・協力」の記載は「連携・協働」の方が良いのではないか。	18	第二次上田市総合計画では、「協働」の定義を「様々な人や組織が（中略）対等な立場で役割分担を行いながら協力し、主体的に活動すること」としており、総合計画の本文中においても、「連携・協力」という表現を使用しているため、修正なしとさせていただきます。
18	4「大綱の位置付け」の本文が分かりづらい。	18	4「大綱の位置付け」の本文を全体的に修正しました。

前回（1月7日）		今回（1月25日）	
ページ	意見等概要	ページ	修正等概要
19	(1)「住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革」の説明文が分かりづらい（2行目「サービスの方法に係る見直し～」）。3行目「～をまとめます。」に違和感がある。	19	(1)「住みたい住み続けたいと思うまちづくりへの改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
19	(1)ア「移住・定住・交流人口を増やす体制の確立」本文2行目「仕組みづくり」の表現が分かりづらい。	19	(1)ア 本文2行目の表現について修正し、広域連携に関する記載を追加しました。
19	(1)イ「民間活力の導入促進」本文3～4行目「しっかりと見極め～」の「しっかりと」は不要ではないか。	19	(1)イ 本文3～4行目「しっかりと見極め～」の「しっかりと」を削除しました。
20	(2)「支える財政基盤の改革」の説明文 3行目「～をまとめます。」の表現に違和感がある。	20	(2)「支える財政基盤の改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
20	(2)ア「歳入の確保」本文3行目～「ふるさと納税を始めとした自主財源の確保～」について、ふるさと納税のほかに自主財源を例示できないか。	20	(2)ア「歳入の確保」本文3行目～例示を増やし、「企業誘致による財政基盤の強化、広告掲載事業やふるさと納税の推進など、自主財源の確保～」に修正しました。
20	(2)ウ「市有財産の適切な管理と利活用」本文が全体的に難しく、分かりづらい。	20	(2)ウ「市有財産の適切な管理と利活用」本文を全体的に修正しました。
20	(2)エ「受益と負担のあり方の見直し」本文3行目「受益と負担の適正化～」を「受益と公平な負担の適正化～」にしたらどうか。	20	(2)エ「受益と負担のあり方の見直し」本文3行目「受益と負担の適正化～」を「受益と公平な負担の適正化～」に修正しました。
21	(3)「市民満足度を向上させる人・組織の改革」の説明文が分かりづらい（2行目「行政と地域の仕組みに係る改革～」）。2行目「～をまとめます。」に違和感がある。	21	(3)「市民満足度を向上させる人・組織の改革」の説明文の指摘部分について修正しました。
21	(3)ア「行政組織の見直し」本文3行目「効果的かつ効率的な～」 (3)ウ「行政評価の仕組み整備」本文1行目「効果的かつ効率的な～」 表現の統一または、ほかに適当な表現はないか。	21	(3)ア「行政組織の見直し」については、本文全体を見直し、修正しました。 (3)ウ「行政評価の仕組み整備」本文1行目「効果的かつ効率的な～」に修正しました。
21	(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文2～3行目「全体の奉仕者」の表現は、かなり使い古された言葉であり、ここで記載するのはふさわしくない。	21	(3)イ「人材育成と職員の意識改革」本文2～3行目「全体の奉仕者～」を「市政の主人公は市民である」という考えを基本に、市民の立場、市民の目線に立って～」という表現に修正しました。
22	6(2)ウ「チェック体制」(イ)の本文「市民の代表」という表現がどのような人を指しているのか分かりづらく、受け取り方によっては誤解を招きやすい。	22	6(2)ウ「チェック体制」(イ)の本文を削除し、6(2)「大綱の推進体制」の冒頭に説明文を追加し、下段「上田市行財政改革の推進体制」の図についても修正しました。

第三次上田市行財政改革大綱の概要（案） 前回案からの主な修正点

1 前回まで未完成部分の整理

前回までの案		今回送付の案
対象箇所	ページ	整理済内容
目次	-	前回未完成だった目次を追加しました

2 前回の委員会での指摘事項

前回までの案		指摘
指摘内容	ページ	対応
「平成19年3月」 取組項目で未達成の17%はその後達成したのかどうか	2	「未達成項目については、第二次行財政改革大綱や他の所管における進捗管理へ引き継いだ」と改めました
「ウ 合併特例債の終了」 具体的な金額が入れられないか。今後の財源についても例示可能か	10	「ア 公債費の増加」へ「（上田市の発行上限額390.1億円）」、「ウ合併特例債の終了」へ「平成26年度末時点で278.4億円がすでに発行済で」を追加しました
「(5)参加と協働による自治の推進と・・・」は、住民自治のことを指しているのか。普段接しているような言葉を使った方がよい	13	「(5)ア」について、「地域経営会議」の解説を含め、分かりやすく表記しました
「イ(1)」の表記が簡潔ではないか	5	「イ(1)」に目標となる具体的な合計特殊出生率の数値を表記しました
(1)ア「結婚・子育て・・・」の間に「出産」を入れてはどうか	16 5	P19(1)ア「・・・結婚・出産・子育て・・・」と表記しました。 P5イ(ウ)「結婚支援・子育て支援」を「結婚・出産・子育て支援」と表記しました。 なお、P5の(オ)2については、『上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の基本方針を引用しているため、そのままの表記としました
(4)アPPP/PFIに注釈を入れた方がよい	13	(4)アの後段にPPP及びPFIの注釈を入れました

3 その他

-	1	「指定管理者制度」「行政委員会」の注釈を追加しました
-	3	「国立社会保障・人口問題研究所」の注釈を追加しました
-	5	「定住自立圏」の注釈を追加しました
-	11	「合併特例債」の注釈の場所を変更しました
-	11	「合併特例期間」「合併算定替」の注釈を追加しました。
-	13	「ICT」「マイナンバー制度」「オープンデータ」の注釈を追加しました。

ページ
-

ページ
2
12
16
5
19 5
15

1
3
5
8
13
16